

「洗剤のことを何も知らない洗濯機に任せられますか」

というキャッチコピーで、洗濯機の可能性を広げ、より洗濯好きのヒトを増やす洗濯機です。

ここ数年、洗剤メーカーの開発が活発になり、多種多様な形態の洗剤が販売されるようになりました。

この動きはライフスタイルの変化に洗剤や洗濯機が来ずに、消費者が不満を抱いていたとも読み取れます。

A I時代の到来で、洗濯機にも賢さが求められていますが、現在の洗濯機は、どんな洗剤であっても一律に自動で運転します。

本発明による洗濯機は、使用する洗剤の種類を洗濯機に教えることで、洗剤の種類に応じた自動運転を可能にします。

本洗いの時間やすすぎの回数に加えて、洗濯物の傷みを軽減するために、洗剤の種類に応じて、モーターを回転させ始める洗濯液生成工程の水量を決定します。尚、特許権の範囲は、洗濯液生成工程水量決定部分のみです。

構成としては、洗剤パッケージにあるバーコードを読み取るスキャナーと記憶部を加えるだけですから、期待できる効果に比べると、製造コストの負担も少ないはずです。

賢い洗濯機で、洗濯機に革命を起こしましょう。